

令和元年度 石川支部事業実施結果について

I. 基盤的保険者機能関係

1. 現金給付の適正化の推進

取組結果
<ul style="list-style-type: none"> ・保険給付適正化プロジェクト会議による各種案件の協議 ・本部提供の対象者リストに基づく傷病手当金及び出産手当金にかかる事後調査の実施 ・傷病手当金と障害年金等の対象者リストに基づく併給調整 ・広報誌、メールマガジン等を活用した申請方法、制度全般に係る広報の実施

指標	H30実績	R1実績	前年比
現金給付の請求方法・制度の周知(件)	8	7	87.5%
傷病手当金と障害年金等の併給調整分返納金(件)	136	100	73.5%

2. 効果的なレセプト点検の推進

取組結果
<ul style="list-style-type: none"> ・本部主催のシステム操作に関するスキルアップ研修の内容を共有し、疑義レセプト抽出の精度を向上させた。 ・再審査請求結果のうち、特に点検員毎の診療識別コード別の査定傾向を分析し、フィードバックした。 ・高額査定の件数増加を目指し、高額レセプトの点検を重点的に行ったことにより、1件あたりの査定額が前年度比+79円の4,519円へと向上した。 ・資格点検については、進捗管理を徹底し、漏れや遅延なくスケジュールどおり実施した。 ・外傷点検について、未提出者に対しマニュアルどおりの定期的な再催告を実施した。

【KPI(重点業績評価指標)】	H30実績	R1目標	R1実績
社会保険診療報酬支払基金と合算したレセプト点検の査定率	0.293%	前年度以上	0.255%
			*2月末
指標	H30実績	R1実績	前年比
高額査定(10,000点以上の査定件数)	33	48	145.5%
レセプト内容点検(点検員査定効果額:千円)	40,940	40,718	99.5%
負傷原因届未提出再照会(回答率)	79.3%	82.0%	103.4%

3. 柔道整復施術療養費等の照会業務の強化

取組結果
<ul style="list-style-type: none"> ・柔道整復施術療養費申請に係る多部位(施術箇所が3部位以上)かつ頻回(施術日数が月15日以上)及びそれに準ずる申請に対する患者照会の実施

【KPI(重点業績評価指標)】	H30実績	R1目標	R1実績
柔道整復施術療養費の申請に占める、施術箇所3部位以上、かつ月15日以上の施術の申請の割合	1.17%	前年度以下	1.08%

・患者照会時に正しい利用等に関する制度についてのチラシの同封
 ・審査会において、いわゆる「部位ころがし」と呼ばれる過剰受診が疑われる申請を重点的に審査し、不適切な施術が疑われる施術所に対しては面接確認委員会で指導を実施

指標	H30実績	R1実績	前年比
多部位・頻回患者照会(件)	3,412	4,351	127.5%
部位ころがし患者照会(件)	64	84	131.3%
審査会での審査・協議(件)	54	55	101.9%
面接確認委員会の実施(回)	-	2	-

4. あんまマッサージ指圧・鍼灸施術療養費の適正化

取組結果
 ・受領委任制度導入に伴い、文書で作成された医師の再同意書の確認を徹底する等審査を強化

指標	H30実績	R1実績	前年比
同意書の不備による返戻(再提出がない申請:件数)	-	16	-

5. 返納金債権の発生防止のための保険証回収強化、債権回収業務の推進

取組結果
 ・保険証未回収者に対し、日本年金機構の資格喪失処理13日後に一次催告、一次催告の13日後に二次催告としてそれぞれ文書催告を実施した(一次・二次合計2,533件)。また、電話催告を実施した(237件)。
 ・保険証未回収率が高く、かつ県外在住者が多い事業所を訪問し、注意喚起及び県外担当者あてのパンフを手渡すことで、回収の徹底を周知した(2月 7件)。また、保険証未回収率の高い事業所あて文書による周知を実施した(2/21 103件)。
 ・以上の結果、保険証回収率は前年同月比+0.67%の96.62%(令和2年2月末)となった。
 ・債権調定から法的手続きまでのサイクルについては、事務連絡「2019年度債権管理回収業務にかかる重点方針」にて示された業務フローに基づき調定から2ヵ月後に文書催告(392件)、調定から3ヵ月後に弁護士名催告(669件)をそれぞれ実施した。

【KPI(重点業績評価指標)】	H30実績	R1目標	R1実績
日本年金機構回収分も含めた資格喪失後1か月以内の保険証回収率	95.9%	96.3%以上	96.5%
返納金債権(資格喪失後受診に係るものに限る。)の回収率	52.8%	前年度以上	59.6%
医療給付費総額に占める資格喪失後受診に伴う返納金の割合	0.029%	前年度以下	0.068%
指標	H30実績	R1実績	前年比
資格喪失処理後2週間以内の保険証文書催告(件)	2,006	1,837	91.6%
保険証未回収者への再催告(件)	140	230	164.3%
低回収率事業所への債権発生抑止文書の発送(件)	94	103	109.6%

*1月末

・債権回収については納付書送付時に保険者間調整の案内チラシを対象者全員に同封する等、積極的に勧奨した。その結果、回収件数161件(昨年度比+37件)、回収金額17,744,649円(昨年度比+11,948,326円)となった。

・弁護士名催告を行ってもなお未納の債権について、法的手続きを実施した(37件)。(実施件数が前年度(87件)から減少した理由は、平成30年度以前調定の債権については概ね実施済であるため。)

保険者間調整の活用(件)	124	161	129.8%
弁護士催告による回収(件)	729	669	91.8%
法的手段による回収(件)	87	37	42.5%
資格点検の無資格レセプト返戻(件)	5,068	4,084	80.6%

6. サービス水準の向上

取組結果
<ul style="list-style-type: none"> ・お客様満足度向上・業務改善プロジェクト会議を通じた、電話対応に係る自己チェックシートの確認、加入者サービス水準向上に繋げるための対策の検討 ・外部講師による接客研修の実施 ・サービススタンダード対象の現金給付に係る10営業日以内の支払いを遵守するための情報共有や進捗状況の適切な管理 ・広報誌、メールマガジンを活用した郵送化促進につなげるための広報の実施 ・任意継続資格取得届の多い公的機関に対して訪問し郵送での届出を依頼 ・効率的な事務処理のため、進捗状況に応じた処理体制の変更

【KPI(重点業績評価指標)】	H30実績	R1目標	R1実績
サービススタンダードの達成状況	100.0%	100.0%	100.0%
現金給付等の申請に係る郵送化率	94.4%	94.6%以上	95.0%
指標	H30実績	R1実績	前年比
自己チェックシート全項目年間平均点	4.66	4.73	101.5%
お客様満足度(窓口)	98.4%	100.0%	+1.6pt
お客様満足度(架電)	66.7%	60.0%	-6.7pt

7. 限度額適用認定証の利用促進

取組結果
<ul style="list-style-type: none"> ・申請書設置済医療機関に対する使用促進チラシ及び申請書の追加送付 ・広報誌、メールマガジンを活用した利用促進のための広報の実施 ・限度額適用認定証利用促進のポスターを作成し、県内医療機関に対して送付し掲載を依頼

【KPI(重点業績評価指標)】	H30実績	R1目標	R1実績
高額療養費制度に占める限度額適用認定証の使用割合	82.8%	85.0%以上	82.2%
指標	H30実績	R1実績	前年比
認定セット未設置医療機関へ働きかけ(設置件数)	2	1	50.0%
利用促進ポスター 発送数	-	1,032	-

8. 被扶養者資格の再確認の徹底

取組結果
<ul style="list-style-type: none"> ・未送達事業所の住所を調査確認の上、再発送を実施 ・未提出事業所に対する文書及び電話による提出勧奨
<ul style="list-style-type: none"> ・社会保険労務士会への協力依頼 ・広報誌、メールマガジンを活用した事業所あて広報の実施

【KPI(重点業績評価指標)】	H30実績	R1目標	R1実績
被扶養者資格の確認対象事業所からの確認書の提出率	90.9%	93.4%以上	93.7%
指標	H30実績	R1実績	前年比
催告対象件数	2002	1165	58.2%

9. オンライン資格確認の利用率向上

取組結果
<ul style="list-style-type: none"> ・利用がない医療機関1件を訪問、電子カルテシステムとの相性問題から当面使用困難とのことであったため契約見直しを実施

【KPI(重点業績評価指標)】	H30実績	R1目標	R1実績
USBを配布した医療機関における利用率	50.0%	50.0%以上	75.0%

Ⅱ. 戦略的保険者機能関係

1. 事業目的及び目標達成を目指した多様なデータ活用

(1)健康づくり事業

取組結果
<ul style="list-style-type: none"> ・かがやき健康企業宣言のエントリー促進のため、電話勧奨の際に事業所カルテを同封【カルテ同封エントリー率:10.1%(46/455)、カルテ未同封エントリー率:4.4%(134/3049)】 ・宣言事業所に対して事業所カルテを送付 ・電話勧奨事業の結果分析により宣言等を行う事業所の傾向を把握

(2)保健事業

取組結果
<ul style="list-style-type: none"> ・GIS(Geographic Information System)ツールを活用しての経年未受診者の動向を把握。当該動向については、令和2年度の生活習慣病予防健診の集団健診における開催地域の選定に活用予定。

(3)重症化予防事業

取組結果
<ul style="list-style-type: none"> ・介入前後における関係数値データの推移をもとに、医療機関と連携した効果検証を実施。 ・羽咋市における歯と全身の健康を通じた医療費の相関性等について金沢大学との共同研究を実施。

指標	H30実績	R1実績	前年比
事業所カルテの事業所への配布数	1022	908	88.8%

2. 第2期保健事業実施計画(データヘルス計画)の着実な推進

(1)健診受診率の向上

取組結果
<ul style="list-style-type: none"> ○生活習慣病予防健診 ・新規適用事業所や任意継続被保険者に対する受診勧奨 ・健診対象者3名以下の小規模事業所に対する受診勧奨業務の外部委託

【KPI(重点業績評価指標)】	H30実績	R1目標	R1実績
生活習慣病予防健診受診率	55.2%	55.0%以上	57.1%
事業者健診データ取得率	14.2%	12.6%以上	13.3%

<p>○事業者健診</p> <ul style="list-style-type: none"> ・同意書取得勸奨および健診結果データ作成業務の外部委託 ・データの早期提出促進事業の実施 <p>○被扶養者の特定健診</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県内17市町に対する自治体主催の集団健診への受診勸奨チラシの発送 ・金沢市及び小松市に対する集団健診の実施(R1.8) ・県内市町を対象とした集団健診の実施(R1.11～12) ・集合契約にかかる代表保険者としての契約事務

被扶養者の特定健診受診率	31.0%	31.2%以上	30.2%
指標	H30実績	R1実績	前年比
新適・任継あて受診勸奨(生活習慣病予防健診)	1,037	1,370	132.1%
外部委託小規模事業所あて受診勸奨(生活習慣病予防健診)	0	281	—
新規健診機関と委託契約(生活習慣病予防健診)	0	0	—
外部委託同意書取得(事業者健診)	1,218	265	21.8%
外部委託データ取得(事業者健診)	4,267	1,769	41.5%
外部委託データ早期取得(事業者健診)	2,867	3,163	110.3%
自治体健診へ受診勸奨(特定健康診査)	3,941	3,989	101.2%
独自集団健診(特定健康診査)	2,866	2,754	96.1%

(2)特特定保健指導効果の拡大

取組結果
<p>○支部保健師等の活動強化に向けた研修会・検討会(3グループ)の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中断率の減少及び改善率向上に向けた成功事例の共有や困難事例への対応について検討 ・評価期間の短縮に対応した支援の実施 <p>○委託機関による特定保健指導実施率増加に向けたアプローチ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実地調査時等の機会を利用した健診実施機関の実態に即した個別サポート <p>○委託機関保健師や市町の保健師による特定保健指導実施に向けたアプローチ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健診及び特定保健指導の一体実施を定着させるための集団健診時における利用勸奨

【KPI(重点業績評価指標)】	H30実績	R1目標	R1実績
特定保健指導の実施率	23.3%	19.2%以上	24.2%
指標	H30実績	R1実績	前年比
特定保健指導実施者数(被保険者・支部保健師等)	3,611	3,654	101.2%
特定保健指導実施者数(被保険者・委託機関)	2,202	2,488	113.0%
特定保健指導実施者数(被扶養者)	44	42	95.5%
新規契約機関数	0	0	—
特定保健指導中断率(支部保健師等実施分) ※資格喪失等含む	10.9%	10.3%	-0.6%

(3)未治療者への重症化予防施策の深耕と推進

取組結果
○血糖・血圧の健診結果が治療を要する者に対する医療機関への受診勧奨 ・電話や文書による受診勧奨の実施 ・事業所から対象者に対する勧奨に向けた協力依頼
○通院治療中の糖尿病性腎症第3～4期の患者に対する医療機関の糖尿病専門医と連携した生活改善サポート ・人工透析回避のための医療機関との連携による食事・運動サポートの実施。併せて、サポート前後による腎機能データにて評価
○健康宣言事業所を中心とした、簡易歯科検診の実施(51事業所 1,769名)

【KPI(重点業績評価指標)】	H30実績	R1目標	R1実績
受診勧奨後3か月以内の受診者の割合	9.9%	12.0%以上	12.1%
指標	H30実績	R1実績	前年比
勧奨後3月以内の受診割合(二次該当)	10.7%	10.2%	95.3%
勧奨後3月以内の受診割合(二次以外)	9.7%	11.3%	116.5%
医療機関連携で透析予防(介入人数)	3	1	33.3%
簡易歯科検診受診者数	2,210	1,769	80.0%

(4)コラボヘルス(健康づくりの協同)の推進

取組結果
○かがやき健康企業宣言事業の拡大及び充実 ・外部委託による文書及び電話勧奨 ・事業所カルテの配布による経年での健診・医療費の情報提供 ・事業所の健康づくりの取組メニューの冊子を作成・配布 【かがやき健康企業宣言事業所約830社および新規宣言事業所へ配布】 ・好事例集の作成・配布 【かがやき健康企業10社に取材を行い、事例集を作成。かがやき健康企業宣言事業所約830社および新規宣言事業所へ配布。】 ・外部委託による無料出前講座の実施、県主催出前講座の案内 ・外部委託による施設型運動講座の実施(金沢市、小松市、かほく市の3か所) ・経済産業省や石川県の顕彰制度への誘導 【健康経営優良法人70社(ホワイト500:2社、大規模:3社、中小:65社)】 【石川県知事表彰13社】 ・保健事業との連携やインセンティブ制度を意識した内容でかがやき通信を作成

指標	H30実績	R1実績	前年比
健康宣言リーフレットで勧奨(事業所数)	450	68	51.1%
外部委託での電話勧奨(事業所数)		162	
事業所健康カルテの宣言事業所配布数	488	453	92.8%
事業所健康カルテの未宣言事業所配布数	534	455	85.2%
好事例集の収集・紹介事業所数	12	10	83.3%
支部・県出前講座の利用事業所数	44	77	175.0%
県・経産省認定制度の認定事業所数	31	83	267.7%
かがやき通信発行数	8	9	112.5%

3. ヘルスリテラシー(健康情報の提供や理解)の促進

(1)電子媒体の飛躍的拡充(アナログからデジタルへの転換)

取組結果
<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページ・メールマガジンを活用した自治体・関連団体等主催の健康増進関連情報の提供 ・アンケート型メールマガジン登録勸奨(2967事業所) ・新規適用事業所へのメールマガジン登録者拡大に向けた文書勸奨 ・メールマガジン、各種勸奨文書等からホームページへのアクセス誘導(ホームページURLの掲載等)

【KPI(重点業績評価指標)】	H30実績	R1目標	R1実績
広報活動における加入者理解率の平均について対前年度以上とする。	34.4%	前年度以上	47.4%
指標	H30実績	R1実績	前年比
メルマガ発信回数	23	14	60.9%
メールマガジン新規登録件数	1,196	866	72.4%
卒業前学生向け講義開催数	9	4	44.4%

(2)健康保険委員の委嘱拡大と戦力化

取組結果
<ul style="list-style-type: none"> ・新規健康保険委員登録者拡大に向けた新規適用事業所・小規模事業所への文書勸奨及び中・大規模支部への電話勸奨 ・健康保険委員広報誌の発刊(4回) ・事務手続き冊子「協会けんぽのしおり」改訂(インセンティブ制度等に関する項目を追加)、健康保険委員への配付 ・健康保険委員表彰大会における記念講演の実施(35名参加) テーマ:「中小企業だからこそ取り組むべき「働き方改革」のポイント」 講師:三井住友海上経営サポートセンター 経営リスクアドバイザー 五十嵐 朋人 氏 ・座学と実技2本立ての健康保険委員向け研修会の実施(42名参加) テーマ①:「心と身体の健康は食事から! ~「食」を愉しむ栄養学~」 講師:北陸大学薬学部教授 宇佐見 則行 氏 テーマ②:「協会けんぽ保健師直伝! 職場でできる簡単ストレッチ」 講師:協会けんぽ石川支部保健師

【KPI(重点業績評価指標)】	H30実績	R1目標	R1実績
全被保険者数に占める健康保険委員が委嘱されている事業所の被保険者数の割合	57.8%	60.0%以上	63.6%
指標	H30実績	R1実績	前年比
(電話再勸奨)新規委嘱者数	712	832	116.9%
委員通信発信回数	5	4	80.0%

4. 医療費適正化リテラシーの促進

取組結果
<ul style="list-style-type: none"> ○ジェネリック医薬品の使用促進 ・小松市内薬局(小松市との共同事業)及び事業所経由でのお薬手帳カバーの配

【KPI(重点業績評価指標)】	H30実績	R1目標	R1実績
ジェネリック医薬品使用割合	76.7%	78.7%以上	79.2%

※令和2年2月診療分

機密性2

布
 (39薬局7,350枚)
 ・事業所を通じたお薬手帳カバーの配布
 ・特定要件に基づく支部独自の切替案内の送付(9医薬品1,958名)
 ・医療機関・薬局への訪問による協力依頼(5医療機関5薬局)
 ・使用割合の低い地域の加入者への意識調査、核となる医療機関へ訪問
 (3,000件発送、回答数648件、回収率23.0% 珠洲市総合病院訪問)

○医療の適正受領、かかりつけ医・薬局の普及推進
 ・リーフレット、クリアファイルを作成し加入者・事業所へ配布

指標	H30実績	R1実績	前年比
事業所を介しカバー配布	11,296	11,939	105.7%
切替案内対象医薬品数	12	9	75.0%

5. 医療給付費の適正化に関わる関係審議等での意見発信

取組結果

○医療計画推進協議会での意見発信
 ・医療圏保健医療計画推進協議会(南加賀・能登北部・能登南部)での病床機能見直しにかかる意見発信。

○関係団体協議会等での意見発信
 ・石川県保険社協議会における特定健診、特定保健指導、ジェネリック医薬品普及促進にかかる意見発信。

○関係団体との協同事業を通じ地域への影響力を拡大
 ・石川県歯科医師会と共同で簡易歯科健診を1,638名実施。
 ・石川県薬剤師会と共同でお薬手帳カバーを11,459枚配布。

【KPI(重点業績評価指標)】	H30実績	R1目標	R1実績
他の被用者保険者との連携を含めた、地域医療構想調整会議への被用者保険者の参加率	100%	100%	100%
指標	H30実績	R1実績	前年比
調整会議での意見発信件数	4	2	50.0%

Ⅲ. 組織体制関係

1. 職員が働きがいを感じる組織運営の醸成

取組結果
・主任・スタッフをターゲットに、生産性・効率を向上させる独自研修の実施(タイムマネジメント)

指標	H30実績	R1実績	前年比
受診結果報告書の回収割合	100.0%	100.0%	100.0%
月平均一人当たり超過勤務時間数	11.3	12.6	111.5%

2. コンプライアンスを遵守する組織風土の定着

取組結果
・全職員受講必須の研修実施(ハラスメント、情報セキュリティ、個人情報保護、コンプライアンス、メンタルヘルス、ビジネススキル) ・コンプライアンス委員会、個人情報保護管理委員会の開催 ・内部自主点検項目の設定及び点検の実施(毎月、半期)

指標	H30実績	R1実績	前年比
対象職員が全員参加した研修の実施件数	7	6	85.7%
コンプライアンス委員会の年2回以上の開催	3	3	100.0%
個人情報委員会の年2回以上の開催	4	4	100.0%
コンプライアンス案件の発生数	0	0	-
2月以内の同種の事務処理誤り発生件数	0	0	-
内部監査によるマイナス評価の指摘件数	1	1	100.0%

3. 効率性と合理性に着眼した作業体系、環境へ見直し無駄を排除

取組結果
・総務業務の作業を洗い出し、簡素化・効率化をすることで、必要最小限の人数の投入。 ・作業効率や導線短縮を踏まえた備品の購入。 ・一般競争入札では、事業者が参加しやすいように公告期間を見直し、長い期間をとった。また、積極的に声掛けを行い参加を募った。

【KPI(重点業績評価指標)】	H30実績	R1目標	R1実績
一般競争入札に占める一者応札案件の割合	76.2%	前年度以下	23.1%
指標	H30実績	R1実績	前年比
A4コピー用紙月平均使用箱数	28.4	28.1	98.9%